

# 26 ふじ香る東海道を朝日まで

(桑名市 馬道駅～町屋橋)



## ① 有王塚・俊寛塚

平家討伐の謀議が洩れて鬼界が島に流罪、没した俊寛僧都の遺骨を高野山に納めるために諸国を行脚していた侍童有王は、走井山近くにあったリン宗寺前で落命したと伝えられ、ここに有王の供養塚がある。また、益生駅の南西に俊寛僧都の遺骨を埋めたと伝える塚が建てられている。

## ② 町屋御用水

寛永3年(1626)町屋川から取水した上水道、町屋御用水が建設され、各所の水汲み井戸に貯められ、生活用水として提供。現在も農業用水として活用。

## ③ 了順寺

浄土真宗本願寺派。永禄10年(1567)織田信長の軍勢に敗れた桑部城主毛利秀重の孫秀元が出家、のち准如聖人に帰依し、法名恵秀と改め開基。山門は桑名城の遺物と伝わる。

## ④ 城南神社

古くは神明宮と称されたが、明治41年(1908)旧城南村各大字にあった神社を合祀して城南神社と改称。伊勢神宮の遷宮の時、内宮の一の鳥居、古殿社の一部を下賜。昭和30年(1955)合祀された各社は旧社地に分祀。

## ⑤ 久波奈新撰館 (桑名まちかど博物館)

館長作現在アート、古今東西の古美術、鋳物工芸品を展示。

## ⑥ ろっ石陶芸館 (桑名まちかど博物館)

古萬古・有節萬古・有田焼・常滑焼や館長の作品を展示。

## ① 有王塚・俊寛塚



## ② 町屋御用水



## ③ 了順寺



## ④ 城南神社



## ⑤ 久波奈新撰館



## ⑦ 晴雲寺



## ⑥ ろっ石陶芸館

## ⑧ すし清



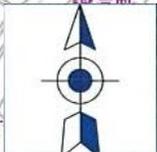
## ⑨ 金光寺

## ⑦ 晴雲寺

真宗大谷派。大永2年(1522)桑名東城主伊藤武左衛門の一族、明西が出家して開基。江戸時代、関東へ向かう大名はここで衣服を改め桑名城下に入ったといわれる。

## ⑧ すし清

料理旅館「すし清」は安政3年(1856)に茶店として創業。樹齢250年以上といわれる藤がある。向かいの伊勢両宮常夜燈は、文政元年(1818)桑名や岐阜の材木屋の寄進によって建立された。



500m

# 26 ふじ香る東海道を朝日まで

(朝日町 町屋橋～朝日駅)



## ⑨金光寺

真言宗 (元天台宗)。延宝元年(1672)繩生に十一面観音像を祀った小堂が建てられ、寛政年間(1789～1800)現在地に移転。

## ⑩真光寺

浄土真宗本願寺派。大同2年(807)最澄がお坊ヶ谷に天台精舎を建立したのが始まりと伝えられ、興国元年(1340)浄土真宗に改宗。明暦3年(1657)有馬温泉からの帰途に病死し、町屋川の洪水で足止めとなった桑名藩主松平定良の遺体を3日間安置。本堂前の手水鉢は松平定重から、鐘楼堂は松平定賢から返礼として拝領したもの。

## ⑪根来美術館

女流画家根来恒子の私設美術館。

(開館時間 12～16時)

## ⑫安達微笑仏館

(四日市地域まちかど博物館) 館長自作の円空仏・木喰彫を中心とした仏像を展示。十一面千手観音像は必見。

## ⑬朝日町資料館



## ⑭若松園

## JR 朝日駅

## ⑮西光寺



## ⑯円形校舎



## ⑰朝日町資料館



## ⑨金光寺



## ⑩真光寺



## ⑪根来美術館

## ⑫安達微笑仏館



## ⑬朝日町資料館

大正5年(1916)朝日町役場として建設され、朝日町公民館に転用、昭和53年(1978)に朝日町資料館として開館。寄せ棟造瓦葺木造二階建、平成12年3月に国の登録文化財に登録。

## ⑭朝日小学校円形校舎

坂本鹿名夫の設計。昭和37年(1962)に建設、鉄筋コンクリート造り四階建。

## ⑮西光寺

真宗大谷派。絵像本尊の裏書きから明応5年(1496)開基。貞享2年(1685)大谷派に。本堂軒下の半鐘は、安永6年(1777)桑名広瀬九郎兵衛道次の作。

## ⑯若松園 (四日市地域まちかど博物館)

「汐見」が名物。和菓子道具展示。

## ⑰朝日町歴史博物館

昭和61年(1986)に発掘調査され、唐三彩碗を伴う舍利容器が出土した繩生廃寺の三重塔模型や倒壊した屋根瓦がレプリカで展示。朝日町にゆかりのある歴史・文化を一堂に集めて展示・解説。

